

学校通信『自分に自信と夢を』 第54号 文責 古澤

自分に自信と夢を ～ 学校再開後の教育活動① ～

学校が再開して3週間が過ぎました。感染症拡大防止対策を講じたうえで、日常の教育活動が戻ってきました。今号では、1～3年生の教育活動の様子と、給食放送について紹介します。

一年生



初めての「ひらがな」と「数字」

国語で「ひらがな」を学習しています。細かい紙をのりで「の」の字に貼り付けて「の」の字を、新聞紙で作ったシippoをお尻に付けて「し」の字を覚えていました。また、算数では「1から10までの数」を学習しています。算数の時間に習った数字を定着させるために、音楽の授業「うたっておどって なかよくなるう」で、数字が入った曲を歌っていました。



二年生

1年生のための学校探検

例年、2年生は生活科で、1年生が学校に慣れるように校舎内を案内しています。今年度は、感染症拡大防止のために各部屋をビデオで収録し、電子黒板で1年生に紹介します。先日、校長室の収録がありました。

収録原稿：ここは校長室です。校長先生は、先生方が働きやすくするために仕事をしているそうです。校長室には、優勝旗があります。前の校長先生の写真もあります。校長室に入りたいときは、校長先生に聞いてください。



三年生



初めての外国語活動

今年度からスタートした「外国語活動」を楽しんでいます。この日は、「あいさつをして、名前をつたえ合おう」をゴールに、各国のあいさつを電子黒板を使い楽しく学習していました。

5・6年生の「外国語」は、英語専科の末次先生が授業をしています。3・4年生の「外国語活動」では、大津町のALT(藤崎二三代先生、マシュー・サイバート先生)が入り英語が好きになる授業をしています。



給食放送を使っっての音楽鑑賞

4月から6月の2週目まで、感染症拡大防止のために、音楽の授業を控えていました。そこで、6月に入り、音楽専科の吉田先生が、給食の時間に教科書で扱っている曲の鑑賞を行っています。この日は、3年生で学習する「茶つみ」と「子犬のワルツ」でした。曲紹介の後に、曲が流れました。3年生の教室では、給食を食べながら、茶摘みの光景を想像して「茶摘み」の曲を鑑賞していました。*下記は、曲紹介の一部です。



(前略)「八十八夜」とは、「立春」という春の始まりから88日目のことです。新しいお茶の芽が出てくる頃で、この時期にとれる新茶は甘くてとても美味しいですよ。今年は5月1日が八十八夜でした。また、八・十・八という漢字を組み合わせると、「米」という漢字になります。八十八夜にお茶を摘むと、秋には美味しいお米ができるとも言われて、農家の人にとって大切な日とされてきました。この曲では、八十八夜にあかね色のたすきをつけて、すげという植物でできた笠をかぶって、みんなで茶つみをしている姿が歌われています。(後略)